

16. 歯根膜腔注射の後継永久歯歯胚に対する影響（第1報）

○野中和明，松本敏秀，中田 稔

（九大・歯・小児歯）

歯根膜腔注射法は、最近一部で臨床応用される傾向にあるが、歯石・歯垢を歯肉溝へ押し込み不潔になりやすく、注入時の強圧で歯根膜の断裂など歯周組織の損傷をきたす可能性もあり、更に乳歯に本法を応用した場合には、先行乳歯に近接した後継永久歯に対する影響も無視できない。そこで今回、幼犬を用いて乳歯に歯根膜腔注射を施した際の、麻酔薬液の後継永久歯歯胚への浸透状態を、組織学的に検索したので結果を報告する。

17. ブリーチングの歯髓に及ぼす影響に関する研究

○後藤讓治（長大・歯・小児歯）

鈴木 信（Western Ontario 大学歯学部）

30%過酸化水素水及び加温による歯牙表面からのVital Bleaching Techniqueは欧米ではしばしば行われている生活歯の漂白方法である。しかし本法の人間歯髓に及ぼす影響に関する報告は本邦においてはみあたらない。そこで、矯正上要抜去と診断された幼若永久歯に対して本法を施した後抜歯し、固定後連続切片標本としてH・E複染色を施した。そして顕微鏡下に観察しコントロールと比較検討し、若干の知見を得たので報告する。

18. 実験的骨粗鬆症に対する食餌療法に関する研究（第1報）

— とくに歯槽骨について —

○住本和隆，木村光孝（九歯大・小児歯）

楊 栄 展（九歯大・歯科放射線）

成長期の組織における栄養障害は、多種多様な所見として現われてくる。歯槽